

2017 放送部がんばります！！

～ まず1学期、入学式・明高祭(文化祭)・その他各種行事が・・・でもなんと言ってもNHK杯！！3年生にとっては集大成！！やり切りましょう！！～

今年度、新入部員6名を迎えました。総勢16名です。そして、早速、第64回NHK杯へ向けての準備です。

GW、まず、県立東播磨高校で行なわれた合同練習会に参加させていただきました。県立東播磨高校の部員だけではなく、県立加古川南高校、市立西宮東高校の部員の皆さんと交流させていただきながら、お互いのレベルアップを目指して練習に取り組みました。発声からミニコンテストまで、貴重な時間となりました。また、番組作成のためのインタビューにもご協力いただきました。ありがとうございました。



GWの締めくくりには、大阪芸術大学短期大学部伊丹学舎で行なわれた第2回ハイスクールノオトレッスンに参加させていただきました。これは、FM KOBE パーソナリティの永田早紀さん主催の合同練習会です。ここでも多くの学校の放送部員と交流を深めました。



ただ、合同練習会の目的は交流ではなく、全国を目指してお互いのレベルアップを図ることにあります。“上には上がある。”一人一人が全国を意識しています。ライバルたちはみんな頑張っています。大会まであと少し。頑張りましょう！

さて、気がつくともう中間考査前です。生徒は勉強に頑張る、顧問は考査業務と共にNHK杯へ向けての準備に頑張る時です。今年は、個人部門16名、番組部門5本で参加です。県大会へ、全国大会へ一つでも二つでも進出して欲しいと願っています。

いよいよNHK杯！ “夢” へのチャレンジ！

6月4日(日)、県立加古川東高校を会場に第64回NHK杯全国放送コンテスト兵庫県大会第3地区予選が開催されました。アナウンス部門へ6名、朗読部門に10名、そして創作ラジオドラマ部門へ2作品が参加しました。なんと、今回はラジオ番組部門での棄権がゼロという激戦となりました。アナウンス部門、朗読部門も棄権は数名に留まり地区大会を突破するだけでも大変です。ちなみに、この第3地区予選は「ここで勝つことが全国優勝に直結する」レベルの高さです。その結果、朗読部門で入選2・佳作1、創作ラジオドラマ部門で佳作2となり、なかなかの善戦をしました。朗読部門入選の2名が県大会に進出です。その他、県大会へはテレビ番組部門で3本が参加です。

6月は、NHK杯の他、同時並行で明高祭(文化祭)もあり、バランスを取ることが不可欠です。とにかく力尽きないように、これまで明石高校創設以来誰も実現していない全国大会という“夢”に近づけるように取り組んで欲しいと願います。



力尽きてはいけない明高祭！！

時々、「運動部には総合体育大会がありますが、文化部にとっては文化祭が最大の行事」と得意げに語られる方もありますが、決してそんなことはありません。文化部も運動部と同じく“全国大会”を目指しています。

もし、「文化部にとって文化祭が最大の行事」ならば「運動部にとって体育大会が最大の行事」ということでなければなりません。すると、総合体育大会(いわゆるインターハイ)は存在なくなります。それでOKなのでしょうか？

放送部も全国大会へ参加することを目指して取り組んで来ています。これまでも明高祭を頑張ったのはいいのですが、翌日の大会で声が出ず、残念ながら全国への夢が終わった先輩が多くあります。地区大会を抜けて県大会へ進出するだけでも大変な努力が必要です。さぞ無念な思いだったと思います。

今回、県大会へ進出ですから、明高祭(文化祭)を楽しみ、先輩たちの思いも背負って、大会を頑張ります。そして、この大会は全国に繋がります。“明石高校初”にチャレンジです。

別に、明高祭をサボるとかそういうことではありませんよ。誤解がないように。明高祭では、“朗読”と“中部講堂からのライブ中継”に取り組みます。

NHK杯！全国への“夢”実現！ どこまでできるか、チャレンジは続く・・・

6月18日・19日の2日間、甲南大学を会場にNHK杯兵庫県大会準決勝・決勝が開催されました。その結果、朗読部門で“優秀”となり全国への切符1枚を手にすることができました。明石高校からの全国は、40年ほど前にあったようだとお聞きしますが、記録も残っておらず、大会規模もその頃とは異なりますので、実質“明高初”の快挙です。本人の頑張り、卒業生を初め関係する方々の思いが丸なっただからこそだと思います。ライバル校からも「良かった」「おめでとう」との声をいただきました。ありがとうございました。ここまで10年かかりました。

振り返れば、今から4年前、地区大会を突破して3人が準決勝に進出しました。しかしながら、明高祭(文化祭)翌日の大会となり、「明高祭で頑張りすぎて声がでません」状態となり全員が準決勝で終わってしまいました。正直、「悲劇」です。顧問もしばらく立ち直れませんでした。以後も、地区大会の大きな壁に跳ね返され、ようやく昨年、2名が準決勝に進出しました。内1名が決勝に進出し、大きく重い扉を少し開けてくれました。このことが今年に繋がりました。今年も2名が準決勝に進出し、内1名が決勝に進出、そしてようやく“優秀”を得ることができました。明高祭(文化祭)翌日の大会となりながら、よく頑張ってくれたと思います。全国大会でも、お世話になった方々への感謝の気持ちを持って、元気に自分らしくチャレンジしてほしいと思います。

これ以外の県大会の結果としては、テレビドキュメント部門で“奨励”となりました。ちなみに、明高祭(文化祭)を題材にした作品です。



明高祭では“朗読”“ライブ中継”、そして裏方として活動しました。朗読については、聴衆は少なかったのですが、「良かった。」「聞いておくべきだった。」との声を聞きました。

**これからもあるべき放送部活動の姿
をめざして取り組みます！！**

**受検生の皆さん、入学されたら放送部へ！
放送部で活躍の場を広げよう！！**

